

イカナゴ類夏眠場調査の結果について

イカナゴ類の夏眠場と想定される下図3海域において、2022年9月に空釣り及びビームトロールで分布状況を調査しましたので、その結果をお知らせします。

調査を行った佐井村沖、むつ市大畑町沖、東通村尻労沖のすべての海域で、今年の採捕はありませんでした。過去に、佐井村沖では1996年に空釣り調査で300個体、むつ市大畑町沖では2001年にビームトロール調査で340個体、東通村尻労沖では2016年に空釣り調査で59個体とまとまった採捕が見られましたが、直近5カ年（2018～2022年）の採捕個体数の平均は、佐井村沖の空釣り調査で0個体、ビームトロール調査で1.0個体、むつ市大畑町沖のビームトロール調査で4.8個体、東通村尻労沖の空釣り調査で1.0個体と、いずれの海域も分布は極めて少ない状況が続いていると考えられました。

当所では今後も資源動向のモニタリングを継続していく予定です。漁業関係団体の皆様に於かれましては引き続き本種資源を適切に管理いただきますようよろしくお願いいたします。

(担当: 資源管理部)

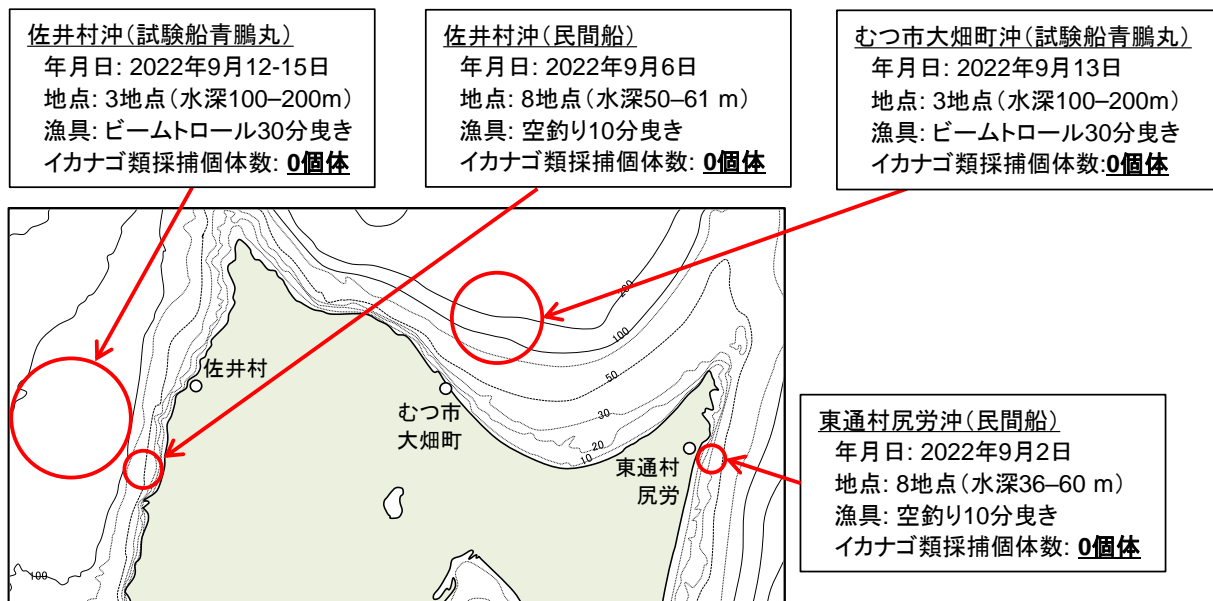


図. イカナゴ類夏眠場調査の結果